



建交労鉄道

岩手地本

2017年10月16日
NO 98号

発行責任者
須藤清成

2017年末一時金の申し入れ

我々労働者とその家族にとって、夏季及び年末一時金は、長期に据え置かれた低賃金構造による毎月の赤字を補填する重要な「年間生計費」であり、貨物会社が主張する「企業の業績によって支払われる」という性格のものではありません。従って建交労鉄道は、JR貨物会社に2017年年末一時金の支払いを、11月15日までに団体交渉を開催し、誠意を以て回答するよう申し入れました。

家計には実感が
緩やかに回復基調が
感じている」とし、
個人消費についても
緩やかに持ち直して
いるとしています。

建交労岩手県本部第19回定期大会
日時 2017年10月22日(日)
8時半～12時まで

10月21日(土) 18時から懇親会
会場 八幡平ハイツ

建交労鉄道岩手地方本部第19回定期大会
日時 11月19日 15時
講演 17時から
国鉄「民営分割」30年の検証
東日本本部書記長 下山信好
18時より 組合員&OBの集

日銀が発表した9月短観では、「企業の景況感が大きく改善した一方、家計には実感が乏しく、企業業績の改善に賃上げが伴うかどうか鍵となる」と指摘しています。

裏切るな

貨物会社は今春闘で労働者の切実な要求を無視した18年連続となる「ベースアップゼロ」を強行しました。

さらに夏季一時金回答では、計画の目

1. 2017年年末一時金は、支払日における基準内賃金の4箇月分とする。
2. 賃金規程第13条
3. 55歳到達以降の社員に対する支給については、55歳到達時の基準内賃金に支給月数を乗じたものとする。
4. 支払日は、12月8日とする。

衆議院第48回総選挙が10月10日告示22日投票となりました。
今がチャンス
暴走する安倍政権をストップ
憲法とくらしを守る新しい政治
安保法制は廃止
立憲主義・平和を守る
市民と野党の共同の前進させ
国民の願いを実現する政治をつくる
チャンスです。皆と力を合わせ
総選挙に勝利しよう。

原発ゼロ

H23年3月の原発事故について、文章にしようとすると、とまらざるありあえず簡単に書きま

①補償は30kmまで、私の家は34kmなので対象外です。しかし放射線は、届いて

②次々と双葉郡の町・村が避難指示解除にな

③中間貯蔵施設が地元の大熊町や双葉町に作

余談ですが、近くのゴルフ場で除染費用の

福島事故の検証と総括がない東電、柏崎刈羽原子力発電所6、7号機の早期再稼働を

人間が健康に生きて行く為に 97

フレイル

フレイルとは、海外の老年医学の分野で使用されている「Frailty(フレイルティ)」に対する日本語訳です。「Frailty」を日本語に訳すと「虚弱」や「老衰」、「脆弱」などになります。日本老年医学会は高齢者において起こりやすい「Frailty」に対し、正しく介入すれば戻るという意味があることを強調。

フレイルは、厚生労働省研究班の報告書では「加齢とともに心身の活力(運動機能や認知機能等)が低下し、複数の慢性疾患の併存などの影響もあり、生活機能が障害され、心身の脆弱性が出現した状態であるが、一方で適切な介入・支援により、生活機能の維持向上が可能な状態像」とされており、健康な状態と日常生活でサポートが必要な介護状態の中間を意味します。多くの方は、フレイルを経て要介護状態へ進むと考えられていますが、高齢者においては特にフレイルが発症しやすいことがわかっています。

高齢者が増えている現代社会において、フレイルに早く気づき、正しく介入(治療や予防)することが大切です。

Friedの基準には5項目あり、3項目以上該当するとフレイル、1または2項目だけの場合にはフレイルの前段階であるプレフレイルと判断します。

1. 体重減少：意図しない年間4.5kgまたは5%以上の体重減少
2. 疲れやすい：何をしても面倒だと週に3-4日以上感じる
3. 歩行速度の低下
4. 握力の低下
5. 身体活動量の低下

フレイルには、体重減少や筋力低下などの身体的な変化だけでなく、気力の低下などの精神的な変化や社会的なものも含まれます。

フレイル状態に至るとどうなるか

フレイルの状態になると、死亡率の上昇や身体能力の低下が起きます。また、何らかの病気にかかりやすくなったり、入院するなど、ストレスに弱い状態になっています。

風邪をこじらせて肺炎を発症したり、怠さのために転倒して打撲や骨折をする可能性があります。

また、入院すると環境の変化に対応できず、一時的に自分がどこにいるのかわからなくなったり、自分の感情をコントロールできなくなることもあります。転倒による打撲や骨折、病気による入院をきっかけにフレイルから寝たきりになってしまうことがあります。

具体的なフレイルへの介入方法に関しては、「フレイルの予防」

『しっかり噛んで、しっかり食べ、しっかり歩き、そしてしっかり社会性を高く!』次なる2つの要素
個人の意識変容・行動変容、それを強力に促すための良質な社会環境の実現
健康のための支援(保健・医療・福祉等サービス)へのアクセスの改善と地域の絆に依拠した健康づくりの場の構築など

